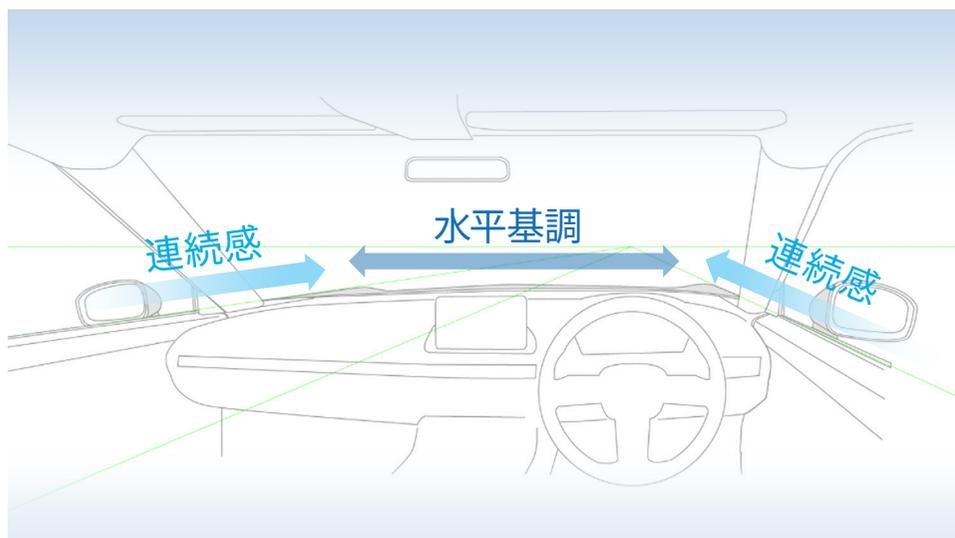


■爽快視界



運転しやすい前方視界

カットラインや面の折れを極力排除したデザインに加え、水平基調を連続的に見せることで運転のしやすさを向上させました。フラットなインストルメントパネルを、ストレートなベルトラインやフェンダーと連続した見え方とし、直進時はもちろん、旋回中にも自車のロール状況や進行方向を把握しやすくしています。

●ドアミラーのスキンマウント化による優れた視界連続性

ドアミラーをドアのアウトターパネルに設置することで、フロントピラーとミラーの間に隙間を設けました。交差点などで歩行者が視認しやすく、また、ベルトラインとフロントフェンダーの視界連続性を高めることで、自車の状態を把握しやすくしています。



ワイドな水平視野角

フロントピラーの下端を先代モデルに対し50mm後方に設定することで水平視野角を拡大。低いフロントフードとあいまって左右まで抜けのよい前方視界を提供します。



※ 水平視野角は日本人男性の平均的アイポイント高でのHonda測定値。

爽快感を高める6ライトキャビン

リアクォーターウィンドウを新たに設け、ボディー両側で計6つの窓を備えた6ライトキャビンとしました。明るく爽やかな室内を実現し、運転席からの良好な後側方視界も獲得しています。後席視界は、サイドウィンドウの下端を低く設定したうえ、センターピラーをすっきりした見え方とすることで爽快感を向上。

□6ライトキャビン(片側3ウインドウ)



□後席視界

